

## 校内別室を利用しながら、自分のペースで学習や登校を

### 不登校生徒の状況

対象生徒は、小学校6年生の欠席率は約30%であった。中学校入学時は登校できていたが、中学校1年生の2学期を境に欠席が増えた。保護者によると、1学期は無理をしていた様子であったとのことで、中学校1年生の欠席率も約30%であった。中学校2年生になると更に欠席が増え、欠席率は約70%となった。

### 具体的な取組

#### ○教職員による情報共有やサポート

校長、副校長、生活指導主任、特別支援教育コーディネーター、各学年主任、SC、SSW、不登校対応巡回教員を構成メンバーとした校内委員会を週に1回実施した。そこで、当該生徒の情報共有を行い、校内別室の利用について検討し、面談や体験を経て、校内別室の利用につなげた。また、校内別室での当該生徒の様子を、別室指導支援員がファイルにまとめ、担任や特別支援教育コーディネーターに情報共有を行った。また、校内別室で取り組んでいる学習の支援を行い、落ち着いて学習できる環境を整える等、安心した登校や校内別室の利用につながるようにした。

#### ○学級や他の生徒との関わりの維持

体育祭や合唱祭等について、教職員から情報提供を行い、当該生徒が興味を示した際には、見学等の提案を行った。その結果、当該生徒は学校行事に参加でき、学級の友人との交流も見られた。また、校内別室を利用した際には、他の校内別室利用生徒と空き教室で給食を食べられるように環境を整えた。

#### ○校内別室の環境整備

校内別室の環境整備として、1日の流れを意識できるように、学習内容や教室での授業参加等、生徒が自己決定した内容を校内別室に設置したホワイトボードに記入できるようにした。



### 成果

当該生徒は、校内別室の利用開始後から登校が増え、教室で過ごせる日も増えた。本人がづらいと感じる時には校内別室を使うことで、継続して登校することができている。中学校3年生の欠席率は約30%で、改善が見られ、修学旅行にも参加できた。

### 課題

各生徒の自己決定による教室での授業参加と校内別室の利用について、個々のニーズへの理解や柔軟な対応を推進していく。